

連載シリーズ

建築・都市計画論領域研究室 木多研

地球総合工学専攻 木多研究室 博士前期2年 山下 大樹

▶Member (2016)

Prof : 木多道宏、Associate Prof : 松原茂樹、Assistant Prof : 下田元敏
Student : 31名 (D : 5、M : 16、B : 6、RS : 4)

▶Contact

吹田キャンパス内 S1棟811室 (改修できれいになりました!)

Tel : 06-6879-7642

研究室HP (<http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp/~labo3/index.html>)

研究室ブログ「虫めがね」 (<http://labo3nikki.exblog.jp>)



ゼミの様子



昨年秋のゼミ旅行 (軽井沢)

メンバーと取り組みの多様性

こんにちは！ 建築・都市計画論領域研究室、修士2年の山下と申します。今回の研究室紹介では、私たちの研究室について、メンバーの声を交えながらご紹介します。

建築・都市計画論領域 (通称3講座) は、建築工学コースに3つある建築計画系の研究室の1つです。メンバー数を見て頂ければお分かりかと思いますが、とても大規模でエネルギッシュな研究室です。また、世界各地の留学生 (今年は10人!) や社会人ドクターなど、多様な背景を持った学生が在籍していることも大きな特徴です。多くの学生が在籍していることで、必然的に研究の内容が多様化します。様々な研究テーマに触れることができる機会が日常に転がっていることは幸せなことだと感じています。隣席の学生の研究は、一見自分の研究とは関わり合いが無いように思えても、全く予想外の発見をもたらしてくれることもあるのです。最近、私が研究室に配属された当初より学生間のコミュニケーションが一層活発になったように思われ、毎週水曜のゼミの議論も盛り上がりを見せています。日本語に慣れていない留学生も多いので、やはり英語は必須ですね (私はあんまりですが) !

フィールドワークのすすめ

近年の主な研究テーマとしては、「都市の場所と人の居方」、「千里ニュータウン」、「建築家の空間デザイン手法論」、「高齢者・障がい者・子どもの生活環境デザイン」、「建築空間の生態幾何学的分析」、「地域文脈を踏まえた地域計画のありかた」、「海外の都市文脈の解説」などです。具体的な内容については、後ほどメンバーに語ってもらいますが、色々

手掛けているなあというのが率直な印象かと思います。これらに通底しているのは「人間と空間の関係を考える」ということです。空間を扱う以上、実際に対象となる場所に足を運んで体験してみることが重要です。研究室のメンバーは、毎年夏〜秋頃になると世界各地を飛び回ってフィールドワークに勤しんでいます。それら全てに同行できる訳ではないので、ゼミでメンバーの発表を聞いていると旅に出たくなりますね。

先生方からしばしば「研究的な視点を持ちながらも、感じたままのことを大切にするように」とのご指摘を受けます。このバランスを体得するのがなかなか難しく、修士2年になった今でもがいています。しかし、このような感覚は、これからも大切な力になっていくのではないかと思います。

そしてやはり、フィールドワークは純粋に楽しいものです。よく知っているはずの場所でも、常に新しい発見があります。私もこの原稿を書いた3ヶ月後には、和歌山の地で足を棒にして歩き回っていることでしょう。

自由と責任と

この研究室では、先生方から「これやって!」と言われることがほとんどありません。研究のテーマは、学生が関心のあるものを見つけてきて、それをベースに先生方と練っていきます。勿論、複数年に渡って継続しているプロジェクトもあり、最終的にいかにして社会にフィードバックできるのか、という点を重要視しています。建築計画の研究室なので、研究以外にも、設計のコンペや外部のプロジェクトに参加しているメンバーも多いです。それら“何でもあり”の活動に対して先生方の指導を仰ぎ、学生自身もお互い助言し合う。この自由な気風が木多研究室の魅力だと私は感じています。

みんなに聞いてみました

ここからは少し趣向を変えて、研究室のメンバーに各々の研究内容などのさわりの部分をお話して頂きます！

Who

1. 最近ハマっていることは？
2. 研究室の特徴・魅力は？
3. あなたの研究について



山下 大樹
(修士2年)

1. 旅行。学生の間にできるだけ。とOBのみなさんが口を揃えておられます・・・
2. 1ページ目を読んでください！
3. 和歌山県広川町で、南海トラフ地震を見据えて、地域文脈を活かした地域計画づくりに取り組んでいます。みかん美味しい。



平岡 美由紀
(修士2年)

1. あらゆる展覧会を見に行き、その帰りに夕方からお酒を飲むことです。
2. みんなが全く違う研究を行っている点が魅力的。他の人の研究を聞くのは興味深し、視野が広がります。
3. アフリカ・ガーナにて、非正規市街地の研究をします。助成金の獲得に奮闘中。



藤本 雅広
(修士1年)

1. サルエルパンツ(これでいいですか、みなさん)。
2. いい意味でなんでもできる。やりたいと思ったことを妨げるものがない。
3. 人の行動と空間の関係に興味があり、研究しています。またそれを設計に生かし、実際の建築空間にしていくということを念頭に置いた研究を行いたいと考えています。



小竹 輝彰
(学部4年)

1. 最近NEXTA'16に作品を出展し、模型とボードを展示していました。学部の過去の設計課題をブラッシュアップしました。
2. 研究室では、いつでも先輩や先生方が質問に対応して下さり、常に学べる環境です。また留学生の学生が多く、国際的な研究室だと思います。
3. ニュータウンや団地の構成に興味があります。人口減少や老朽化による建て替えが進む中、今後どのような転換が必要なのか気になっています。街歩きを積極的にしながら、研究していきたいと思っています。



Nazire Haroon
(博士3年)

1. Recently I'm working hard to improve my research skill in order to become a good researcher in the future.
2. Working in this lab has been a very enjoyable and extremely fruitful experience. This excellent lab is a great place for insightful discussions and sharing knowledge, all in a very friendly atmosphere! A friendly and helpful people, along with great and kind supervisor have made the lab a true pleasure to work.
3. My research is about analyzing the comprehensive features and conditions of informal settlements in Kabul, Afghanistan in order to assist in formulating and designing the most appropriate planning and policy strategies for their improvement.



金 允智
(修士1年)

1. 映像作りたと思って動画撮影と編集を勉強したいと思います。
2. 色々な国から来た友達を作れる。先生たちが優しく相談に乗ってくれる。
3. 研究テーマはシェアハウスをきっかけとするコミュニティです。色々なシェアハウスに行ってみたいです。伝統的な町家を活用したシェアハウスを訪問してみたいです。



Claire Mazars
(交換留学生)

1. I am passionate about art and architecture, I love traveling and taking picture of everything everywhere.
2. I am really happy to be in this lab, all the student are really nice and welcoming, and the teachers really helpful.
3. My studies are about the temporary housing made with paper tube structure.

メンバーの関心や研究内容の幅広さを、少しでもお伝えできていれば幸いです。これでも4分の1お話ししてないです！

最後に

ここまでお付き合い頂きましてありがとうございました！普段何気なく過ごしている研究室について考える機会にもなったように思います。執筆の機会を下さいました木多先生、ありがとうございました。今年も一同、研究頑張ります！



広川町での成果発表

女川町での成果発表



ブダペスト・旧ゲッター地区調査



カブールでの非正規市街地調査